

智頭病院だより

看護の日について

5月12日は



看護の日

看護の心をみんなの心に



みなさんは、「看護の日」をご存知でしょうか。看護する心や、助け合う心を育む大切さを広く知っていただくため、1990年に厚生省（現：厚生労働省）によって制定されました。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に設けられ、この日を含む日曜日から土曜日までの7日間を「看護週間」として、全国各地の医療機関などで多彩なイベントが開催されています。

看護職不足が問題となる中、少子高齢化と人口減少が加速する社会で、医療や介護の場で活躍している看護職について関心を持っていただくことも大きな目的です。

智頭病院では、毎年「看護フェア」としてイベントを開催しており、参加者には記念品としてささやかなプレゼントがあります。今年は5月14日、保健医療福祉総合センター「ほのぼの」のそよかぜ通りで開催しました。

約90人が血圧測定、握力測定、嚥下困難な人のための食品や栄養補助食品の試食、電動ベッド、杖や靴のサンプルも体験されました。

参加者より、「握力を測定できて良かった」「気軽に今の状態を知れて良かった」「試食やベッドの案内に興味があった」などの、意見・感想をいただきました。

イベントの様子を、外来待合いのテレビにてご覧いただけます。

智頭病院では、

看護師・介護士・看護助手を

募集しています！

智頭病院は、地域に貢献し、住民のみなさんに信頼される病院であるために、職員一丸となつて日々奮闘しています。医療・介護の仕事に興味がありましたら、院内見学もしていますので、気軽に連絡ください。そして、将来ともに働く仲間としてお会いできることを願っています。



問合せ先

国民健康保険智頭病院

☎75-3211